



R I. 第2620地区 静岡第2分區
三島西ロータリークラブ

週報

第2113号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2176回例会

2017.9.7晴

於:米山記念館

司 会 鈴木郁夫君

国歌斉唱 四つのテスト

ロータリーソング 「奉仕の理想」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 西本和夫君

私は毎朝6時前にはおきるんですが、8月29日も時間どおりにおきて直ぐテレビのスイッチを入れたところ見慣れない画面が出てきて、多くの人が初めて見る「Jアラート」でした。全国瞬時警報システムと言うそうですが見て驚きました。警報内容は静岡県は入っていませんでしたが近隣の長野県が入っていて内容は「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい」と書かれてました。当然、事前通告なしに日本を飛び越える打ち方をしたことで、対北朝鮮との緊張が一段と高まりました。1週間も経たない9月3日午後0時29分57秒ごろ北朝鮮付近を震源とする地震が発生し、地震波の特徴から「自然地震ではない可能性がある」と発表が有りましたが、やはり核実験だったようです。地震の規模は、日本国内の気象庁発表でマグニチュードで6.1と推定され、北朝鮮が過去に核実験をしたとみられる地震で最大だそうで後に北朝鮮が大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆実験に完全に成功した」とする声明を発表しました。お隣の韓国ではミサイル発射の事では何の報道もなく静かだったようですが水爆実験の時にはマグニチュード5.7の人口地震が発生と発表したそうです。今、日本が何をすべきか何ができるかが問われる難しい局面です。最悪アメリカが戦争する事になった時は日本に甚大な被害が及ぶことは間違いなく日本が「北朝鮮に対し厳重に抗議し、最も強い言葉で断固非難する」と言う

だけで我慢するしかないのか?と複雑な気持ちになります。毎週、ロータリーの例会に出席して食事をして、面白くない会長挨拶を聞いて誰かの卓話を聞いて、委員会活動の打合せをして、平凡ですが平和は嬉しいですね。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	33/40	82.50%	36/40	90.00%
今回	31/37	83.78%	会員総数	45名

欠席者 須田君、長田君、藤江君、古屋君、前田(博)君、前田(房)君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①今月はロータリーの友月間 本日クラブ広報委員長相山豊さん卓話
- ②9月8日(金)エンドポリオイベント打ち合わせ 三島3クラブ合同(社会奉仕)
- ③9月23日(土)台北3480地区自転車体伊豆サイクリングツアー歓迎会(会長)
- ④11月11日(土)・12日(日)地区大会の参加について(焼津)
- ⑤遠藤正幸会員出席免除について - 理事会にて承認
- ⑥諏訪部照久会員1か月間の出席免除について
- 理事会にて承認
- ⑦酒田東記念式典出席者の登録料(10,000円)会にて負担
- 理事会にて承認

2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

委員会報告

社会奉仕委員会

見晴フェスティバル参加について

○10月15日(日) 10:00開会点鐘

○10月14日(土) 前日準備

13:00より北上文化プラザにて650人分の豚汁の仕込み準備をします。奥様方のお手伝いも宜しくお願いいたします。尚、メイクアップ扱いになります。

卓 話

クラブ広報委員会について

クラブ広報委員長 梶山豊君

今月はロータリーの友月間です。8月号の冒頭に会員増強、新クラブ結成 これまでの殻を破る との見出しで会員増強に成功しているクラブとこの1年で結成された新クラブの紹介がありました。

大宮西RCの3本の矢でロータリーの魅力をPRとの題名でした。クラブの活性化と増強をあるベテラン会員が増強委員長に指名されたことから増強物語が始まりました。2013年創立50周年を3年後に控え一時は100名を超えた会員が2010年42人にまで減少した。例会はマンネリ化し、奉仕活動も前年踏襲型、高齢化による停滞感が漂っていたそうです。増強の掛け声だけで実際の行動に結びつかなかった。

「一人の会員から始まった増強物語」一人が一人の増強を提案。42人から84人へ倍増、さらに新会員からの紹介で126人へと3倍増する計画を立てた。会員に増強を強く何度も呼びかけ、自らも熱心に30～40代の若手経営者を勧誘した。勧誘するときにはロータリーの理念の説明とともに、ロータリーは異業種の集まりで経営の勉強になることもPR、また親睦と奉仕を重ね信頼関係が生まれてくる中でビジネスチャンスも広がるメリットをアピールした。仕事の話はロータリーの中ではタブー視されていたが、この殻を打ち破り、ロータリーの両輪ある親睦と奉仕に事業上の利益増大を加えた。

クラブ広報委員会はロータリーのストーリーを人々に伝え、クラブの奉仕活動に対する認識と関心を高める計画を立てて実行する。効果的な広報により地域のニーズに取り組む信頼できる団体としてのロータリーの存在感が高まる。

広報委員会のメンバーは、広報分野での経験があり、地域社会で幅広い人脈を持っている人やインターネットに詳しい人であるべきです。今期の広報委員長は経験のないかなり無理な人選と感じておりその実践には強く責任を感じております。

基本方針

1. 広報委員会はロータリー活動や情報を地域社会の人々に知っていただくための、広報活動を行う。

2. 会報(週報)はこれまで続けてこられたものですので、継続して発行して親睦活動やクラブ内の情報の共有化を図る。

活動計画

1 地域メディアへの情報提供

2 会報の作成は委員の輪番制とする

原稿は、事務局にメール送信をお願いする

3 会報(週報)の発行 投稿写真等の掲載

4 ロータリー徽章の襟ピンの日常着用の推進をする

○三島市議会議員の藤江さんのご協力ご手配にて7月19日静岡新聞に三島西ロータリークラブの新会長に西本氏、と掲載されました。また、新役員も紹介されました。

○8月20日 イトヨーカ堂にて日本赤十字による献血のお手伝いに千葉委員長のもと17名のロータリーメンバーが参加し、40数名の献血の受付をし、自らも数名が献血をしました。静岡新聞に報道されロータリーのイメージアップとなりました。

○10月15日、恒例の見晴フェスティバル参加が決まり看板事業として行う。

これからも台湾苗栗RC交換留学生や見晴フェスティバル、クリスマス会、ゴルフ同好会の遠征等多彩な行事が予定されています。大いに発信しロータリークラブのイメージアップに努力してゆきます。皆さん方のご協力をお願いいたします。

ROTARY NEWS

RI会長の呼びかけ

すべての会員が植樹:

イアン・ライズリー会長は、4月22日のアースデイまでに、すべての会員が植樹を行うよう呼びかけています。植樹を行ったら、ぜひご紹介ください。

世界ポリオデー(10月24日)

みんなで行動を

周到な計画がなくてもできることがあります。お祭りでポリオ撲滅のポスターを張り出す、職場に募金箱を置く、例会でポリオ関連のビデオを見る、などの方法です。

クラブの活動を紹介する

ロータリー世界が一つになってポリオ撲滅に取り組んでいることを示すために、各地のクラブによるポリオ撲滅活動の情報を集めています(活動の規模は不問)。

(週報担当:梶山 豊)